

## GPA の成績公開について

1. ご承知と思いますが、22 年度前期の成績について、規定に従い、はじめて成績通知書に学期 GPA と通年 GPA が記載されました。学科・学年の席順等は記載されていない。

2. このことについて大学基準協会の自己点検評価にともなう質問書に「科目 GPA、学年、学科、指導教員ごとの GPA については 10 月中に学内公表できるように作業を進めている」と回答しておきましたところ、10 月 27 日に行われた実地調査で出来上り次第提出するようとの指示がありました。教育開発センターではどのようなものをどのような形で公表するかについて検討し、結論を得ましたのでご報告します。

(1) お手元の「全体 GPA」「学科・学年 GPA」「学科 GPA」および「学年 GPA」は教授会で公表するとともに学内掲示板に掲示し、学生各自の成績上のポジションを確認できるようにするが、ホームページ等による一般公開はしないことにします。理由はあとでも述べますが GPA 制度がはじまったばかりでまだ定着していないからです。なお、これらの表は学期 GPA による集計でして、学年 GPA は公表するための適当な目的と意義が見つかりませんので記載していません。

(2) これらの基礎となったものとして (A) 科目別の GPA (B) 教員別 GPA および (C) 学科・学年別成績順 GPA が計算されています。これらの表がどのようなものか簡単にお話し、教育開発センターが定めた公開方法を報告します。

(B) 教員別 GPA はある先生が担当する総科目の GPA です。これは評価の平均化を図るための重要な資料の一つではあるのですが、すぐに仏の〇〇、鬼の××といったことに使われますので慎重に扱わなければなりません。(C) 学科・学年別成績順 GPA は学生指導に欠かせないものですが、扱い方には十分に注意しなければなりません。(A) 科目別の GPA は、先生方が成績をつける際に評価ごとに人数を数えおおまかな計算をするものですから、各自大体のところは把握していると思いますが、正確な数値がはじき出され、他の科目と比較いたしますとまた違った印象を与えるものです。また、この表は科目名ごとに履修者数と履修者 GPA の合計から計算するもので、必ずしもクラスごとの履修者名簿と同じものではありません。クラスが新旧 2 つのカリキュラムにまたがっている場合、個々の科目名ごとに GPA が存在することになっており、そのうちの 1 つが履修者 3 名しかいなく GPA が非常に低いということもあります。また、何分にも最初のことですから学生が「取り消し規程」を十分に活用しているともいえません。

以上のことから、主として学生指導への観点を重視して、(A) 科目別の GPA (B) 教員別 GPA および (C) 学科・学年別成績順 GPA の表は準備が出来次第、学科長に配布しますので学科内で刷りまして FD 授業改善の資料としてお使いください。ネット等による一般公開は、GPA 制度が定着するまで当分の間、行わないことにします。なお現在、教務の電算機ソフトを更新中ですが、新しい教務システム GAKUEN の完全運用ができるようになりましたら（来学期から）、アドバイザーの先生は受け持ちの学生の GPA にアクセス可能になります。

## 22 年度学生による授業評価

本学の授業評価は実施方法等で欠陥が明らかになってきましたので「FD 授業改善部会」で検討してもらっているところです。それとは別に教育開発センターでこのことに関し全国調査を行っていますので、今年度は最小限度の手直しを、12 月 13 日から 17 日までの間に、学生による授業評価を実施することにいたしました。

対象は、卒業研究と臨地実習を除き、22 年度後期に開講されている全ての科目とクラスです。実施対象に大学院の科目が含まれるのは言うまでもありませんが、実施期間に開講されていない科目（人間科学部の半期 1 単位の科目）、および休講科目は除外されます。

実施方法については、ネットによる回収を止めて、先生が教務課で資料を受け取り、教室で授業時間の最後 10 分程度を割り学生にアンケートに答えてもらい、先生が回収して教務に持ち帰るという、従来の方法に改めます。この間、回収者はできるだけ回答用紙に触れないようにしてください。アンケートの項目については来年度大幅に変更になる可能性がありますので、これまで通りとし、自由記述項目も設けています。

以上の通りですので、なにとどよろしくご協力ください。